

10 保育福祉科 夜間主コース 土曜クラス 1年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	体育Ⅰ	2	
	体育Ⅱ		1
保育士養成課程 必 修 科 目	保育原理		2
	教育原理		2
	児童家庭福祉	2	
	社会福祉		2
	社会的養護	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	
	保育の心理学Ⅱ		1
	子どもの保健Ⅰ a	2	
	子どもの保健Ⅰ b		2
	子どもの保健Ⅱ		1
	子どもの食と栄養	2	
	保育課程論	2	
	保育内容総論	1	
	乳児保育		2
	社会的養護内容		1
	保育表現技術・幼児体育Ⅰ		1
	保育表現技術・楽典	1	
	保育表現技術・ピアノⅠ	1	
	保育表現技術・造形Ⅰ	1	
	保育実習指導Ⅰ a		1
保育実習指導Ⅰ b		1	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	保育表現技術・ピアノⅡ		1
	保育表現技術・造形Ⅱ		1
必 修 科 目	実習研究概論	2	
	クラスルームⅠ	1	
合 計 単 位 数		21	19
		40	

科 目	体育Ⅰ	講 師	真砂 雄一
授業目標	<p>本来、学校体育とは生涯にわたり、運動に親しむ素質や能力を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるものである。</p> <p>また、楽しみながら運動を継続することで体力の体得、疾病等の軽減ができ、健やかな生活を送ることができる。このような体育教育の目的や身体活動の楽しさを授業を通して学生自身が体験し、他者との共存・協力する姿勢を身につける。</p> <p>保育者として、自身の体力の維持増進を図ると同時に様々な運動の特性を知り、運動技能の向上を図る。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、からだほぐし 2. 球技 3. 鬼ごっこ 4. スポレック 5. 体力テスト 6. 体力テスト 7. ドッジボール 8. ドッジビー 9. 器械運動 10. 伝承遊び 11. リズム運動 12. ダンスエクササイズ 13. 縄遊び 14. レクリエーション 15. 小型遊具・大型遊具を用いた運動 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>各運動の基本的技能（20%）＋実技参加の積極性および協調性（40%）＋授業に対する関心・意欲・態度（40%）＝合計（100%）</p>		

科 目	体育Ⅱ	講 師	宮脇 裕子
授業目標	<p>幼児期は、まず「からだ」が出来ていく基となる時期で、体育あそび及び適切なスポーツを通して、筋力・体力・調整力を付けると共に、明るく健康で、豊かな情操を培えるよう保育士の温かく育む姿勢と指導力が求められている。その指導者としての資質を養うと共に、バイタリティー溢れる豊かな遊び心を育てながら運動能力向上を目指して、楽しくマルチスポーツを工夫展開していく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「あそび」とは幼児にとって何を形成していくのか？走るをテーマにゲームし考える 2. 伝承遊び、鬼ごっこ等、すぐ取り組める道具を使わない遊びを追求する。 3. リズム体操を通して、楽しく体を動かし、表現力を養い、グループで新たな動きを作る 4. 用具を使つての遊びその1 ドッジボールというゲームのルールを千変万化させる。 5. 用具を使つての遊びその2 平均台、マット、フラフープを利用して 6. 用具を使つての遊びその3 基本はポートボール、バスケットボール、アルティメット 7. フットサルに至る前段階のボールあそび 8. 近くの公園で、基礎トレからのフットサル 9. 雨の日の体育室のレクリエーションゲーム 10. ウォーミングアップの効用、スロートレーニングとしてのヨガストレッチ、ピラティス 11. 新聞紙を使ったあそび、新聞紙ホッケー、チャンバラごっこ 12. リズムダンス創作1 鑑賞、曲選択、振り付け 13. リズムダンス創作2 民族的身体活動、よさこいソーラン 14. リズムダンス創作3 ジングルベル 15. 発表会 実技試験 グループ活動の意義考察 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……随時プリント配布</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席第一。リズムダンス創作をグループで行い発表する。その貢献度と時を活かして仲間と共に楽しんで活動出来ているか。</p>		

科 目	保育原理	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の意義、保育の歴史など保育にかかわる基本的な事項を学ぶ。 ・ 保育環境、保育方法などの保育の展開について学ぶ。 ・ 保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・ 保育の現状と今後の課題について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育原理の授業の進め方 保育士の日を知る 2. 子どもを理解する～(1) 事例を通して～ 3. 子どもを理解する～(2) 絵本の読み聞かせを通して～ 4. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(1) 5. 保育所、幼稚園、認定こども園の理解(2) 6. 保育所の目的と役割 7. 保育の方法と内容 8. 保育における環境 9. 子どもの最善の利益を考慮する保育 10. 保育の計画及び評価(1) 指導計画の作成と展開 11. 保育の計画及び評価(2) 保育の記録と評価 12. 保育の思想と子ども観(1) 13. 保育の思想と子ども観(2) 14. 障がいをもつ子どもの理解と対応 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園・保育要領』 参考書 ……授業内で配布したプリントはまとめておく		
評価の 方 法	出席、授業態度を重視し、定期試験、提出プリント等による総合評価		

科 目	教育原理	講 師	桑嶋 晋平
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の思想や歴史を学ぶことを通して自身の教育観や子ども観を問いなおすこと ・ 自身のうけてきた教育をふりかえり、ことばで表現すること ・ 現代教育の諸問題を多角的な視点からみること、また考えること 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 教育とはなにか 3. 共同体と人間形成 4. 子ども・家族・国家 5. 自律的な個人の形成 6. 社会化としての教育 7. 子どもを価値とする教育 8. 近代学校の成立と特徴 9. なぜ学校に行くのか？ 10. 人間の発達と教育 11. 遊びと体験 12. 「学び」と「教え」 13. 「わたし」であること／ひととひとの「あいだ」にあること 14. 教育の再構築 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜指示する		
評価の 方 法	出席状況・授業態度・レポートによって総合的に評価する		

科 目	児童家庭福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な児童家庭福祉の法、施策、行政などの知識を学ぶ。 ・子どもや家族、家庭についての幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについて理解する。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現できるようにする。 ・自分の考えをまとめ、伝える力を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、人類の歩み 2. 児童福祉法と健全育成(1) 3. 児童福祉法と健全育成(2) 4. 児童憲章と環境(1) 5. 児童憲章と環境(2) 6. 子育てとその支援(1) 7. 子育てとその支援(2) 8. 子どもの障害と支援(1) 9. 子どもの障害と支援(2) 10. 社会的養護と施設(1) 11. 社会的養護と施設(2) 12. 児童虐待とその支援 13. ひとり親家庭とその支援 14. 非行とその支援 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……坂本健編『子ども家庭福祉の制度と支援』大学図書出版、2011 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に出席状況、自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会福祉	講 師	畑岡 隆
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として必要な社会福祉の法、施策などの知識を学ぶ。 ・人（あるいは生物としてのヒト）について幅広い見方や考え方を養う。 ・よりよく生きること、ウェルビーイングについての理解を深める。 ・感じたことや思ったことを文できちんと表現する力を高める。 ・自分の考えをまとめ、伝える能力を向上させる。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、ヒトと人の理解 2. 社会福祉の歴史(1) 3. 社会福祉の歴史(2) 4. 社会福祉の歴史(3) 5. 貧困と生活保護制度(1) 6. 貧困と生活保護制度(2) 7. 障害と生活と福祉(1) 8. 障害と生活と福祉(2) 9. 障害と生活と福祉(3) 10. 難病と生活と福祉 11. 老いと生活と福祉(1) 12. 老いと生活と福祉(2) 13. 専門性と援助の方法(1) 14. 専門性と援助の方法(2) 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……相澤譲治編『保育士をめざす人の社会福祉』みらい、2016 参考書 ……必要に応じて、授業で紹介する		
評 価 の 方 法	試験に出席状況、自主レポートなどを加えて評価する（詳しくは初回に説明する）		

科 目	社会的養護	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の基本概念を理解する。 ・社会的養護の歴史や法制度の整備について理解する。 ・社会的養護におけるニーズの変化を理解する。 ・子ども虐待の現状理解と特性への理解を深める。 ・社会的養護における保育士の役割や業務について理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護の基本概念 2. 社会的養護の歴史と法制度の整備 3. 社会的養護のニーズの変化 4. 子ども虐待①（虐待の概念、現状、虐待に関する法制度） 5. 子ども虐待②（虐待対応の流れ） 6. 子ども虐待③（被虐待児の特性理解、保育士の役割、虐待へのケア） 7. 子どもの発達と権利 8. 施設で暮らす子どもの生活と日常支援 9. 子どもを支援する専門職とチーム支援 10. 自立支援計画書とアフターケア 11. 子どもを支援する関係機関との連携 12. 発達障害と知的障害児の理解と支援 13. 里親制度とファミリーホーム 14. 社会的養護の課題と今後の展望 15. レポート 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……適宜指示		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、提出物、レポート内容を総合的に評価する。		

科 目	保育の心理学 I	講 師	前川 圭一郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践に関わる発達心理学の基礎知識を学ぶ。 ・発達心理学の知見と保育実践を結びつけながら学ぶ。 ・子どもが人との相互的な関わりを通して発達していくことを具体的に理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 身体機能の発達、運動機能の発達 3. 乳幼児期の特徴と発達 I 4. 乳幼児期の特徴と発達 II 5. 幼児期の特徴と発達 I 6. 幼児期の特徴と発達 II 7. ことばとコミュニケーションの発達 8. 社会性の発達 9. 自己と感情の発達 10. 遊びの発達 11. 知覚と認知の発達 12. 発達の凸凹について I 13. 発達の凸凹について II 14. 学齢期以降の発達 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『0～6歳子どもの発達と保育の本』（Gakken保育Books）		
評 価 の 方 法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験、レポート等による総合評価		

科目	保育の心理学Ⅱ	講師	前川 圭一郎
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の心理学Ⅰで学んだ知識を実践で生かすため、子どもの心身の発達と保育実践について学ぶ。 ・ 子どもの行動に対する理解を心理学の諸原理から考える。 ・ 課題に対して、議論や発表を通して学ぶ。 		
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの発達を把握するためには 3. 子どもの行動のメカニズムを知るⅠ 4. 子どもの行動のメカニズムを知るⅡ 5. 子どもの行動のメカニズムを知るⅢ 6. 子どもの行動のメカニズムを知るⅣ 7. 気になる行動をどのように考えるか 8. 気になる行動をどのように支援するか 9. 環境へのアプローチについて 10. ことばとコミュニケーションの理解と指導 11. 社会性の発達と支援について 12. 遊びの発達と支援について 13. 発達支援における連携と協同 14. 就学支援について 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……授業でその都度、紹介を行う		
評価の 方法	授業態度、出席を重視し、期末に行われる試験、レポート等による総合評価		

科目	子どもの保健Ⅰ a	講師	大久保 真理子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの身体発育及び生理機能、運動機能、精神機能の発達について理解する。 2. 子どもの心身の健康増進を図るための保健活動の意義を理解する。 3. 保育の場における環境の調整、衛生管理及び安全管理の方法について理解する。 		
授業の 計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの発育・発達と保健 (1)子どもの身体発育 2. / 3. (2)生理機能の発達 4. / 5. (3)運動機能の発達 6. / 7. (4)精神機能の発達 8. / 9. 子どもの健康と保健活動 (1)統計にみるわが国の小児保健の現状 10. (2)母子保健対策 11. / 12. 子どもの健康に影響を及ぼす因子と保健 (1)子どもをとりまく環境とその整備 13. (2)児童虐待について 14. (3)保育現場における事故防止・安全対策 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定なし		
評価の 方法	出席状況、受講態度、試験結果を総合して評価します (試験は授業内に3回小テストを行う予定です)		

科 目	子どもの保健Ⅰb	講 師	大久保 真理子
授業目標	1. 子どもの健康状態の把握のための具体的な方法について理解する。 2. 子どもの精神保健とその問題等について理解する。 3. 子どもがかかりやすい感染症及び感染症の予防のための具体的な方法について理解する。 4. 子どもにみられやすい症状について理解するとともにそれに対する適切な対応についても理解する。		
授 業 の 画	1. 子どもの健康状態を把握する方法 2. 子どもの精神疾患 3. 子どもの心の健康とその課題 4. 〃 5. 子どもがかかりやすい感染症 6. 〃 7. 感染症対策の現状 8. 感染症の予防 9. 〃 10. 呼吸器系疾患とその対応 11. 消化器系疾患とその対応 12. アレルギー性疾患とその対応 13. 発熱等の症状への対応 14. 〃 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……新保育士養成講座第7巻『子どもの保健』全国社会福祉協議会 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、試験結果を総合して評価します （試験は授業内に3回小テストを行う予定です）		

科 目	子どもの保健Ⅱ	講 師	竹岡 紀子
授業目標	この授業を通して、保育現場で保健活動を展開できる基礎を身につける。 ・子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について考える。 ・子どもの疾病とその予防、適切な対応について学ぶ。 ・救急時の対応や事故防止、危機管理について学ぶ。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 子どもの発育・発達 3. 日常生活の援助—手洗い・抱き方・おむつ交換・衣服の着脱 4. 身体の計測と発育評価 5. おむつ実験 6. おむつ交換時の観察ポイント 7. 子どもの疾病と看護—バイタルサイン 8. 子どもの疾病と看護—最近の健康問題 9. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 10. 日常生活の援助—沐浴・スキンケア 11. 子どもの事故の特徴と安全対策 12. 応急処置 13. 救急蘇生法 14. 試験 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……“子どもの保健Ⅰ”で使用するテキスト 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、レポート、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの食と栄養	講 師	深川 卯子
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 2. 子どもの発育と発達と食生活の関連について理解を深める。 3. 食育の基本とその内容、食育のための環境を理解する。 4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について（特に朝食欠食など）。 5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する（アレルギーについて含）。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発育期の食生活と栄養について 食育の大切さ 2. 栄養素について 働きと疾病との関係など 3. 〃 炭水化物・食物繊維 4. 〃 脂質 5. 〃 たんぱく質 6. 〃 ビタミン 7. 〃 無機質 8. 日本人の栄養摂取基準について 9. 食品群について 10. 乳汁期の食生活 11. 離乳期の食生活 12. 幼児期の食生活 13. 幼児期の偏食・食物とアレルギー 14. 現在の食生活の問題点と食育の意義・まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『最新子どもの食と栄養』学建書院 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席、小テスト（授業中）、試験による総合評価		

科 目	保育課程論	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育課程の編成と指導計画の作成を行い、その必要性と基本を学ぶ。 ・ 年齢別の発達の主な特徴と保育者の援助の留意点を学ぶ。 ・ 子ども一人ひとりの発達、保育の展開を学び、実践につながる知識を深める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 保育課程とは何か 3. 保育の基本と計画 4. 保育における指導計画の種類と役割 5. 指導計画上の留意事項 6. 子どもにふさわしい活動について考える 7. 保育における計画の考え方 8. 長期、短期の指導計画について 9. 指導計画の作成① 10. 指導計画の作成② 11. 講評 12. 指導計画の作成③ 13. 指導計画の作成④・評価 14. 試験 15. まとめ ※内容は授業の進み具合によって変更することもあります 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針』、『養護と教育が一体となった保育の言語化』全国社会福祉協議会、授業内で配布したプリントはまとめておく 参考書 ……特に指定なし 授業の中で紹介します		
評 価 の 方 法	出席状況、授業態度、課題提出、試験による総合評価		

科 目	保育内容総論	講 師	上平 泰博
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育指針における保育内容の全体的構造関係を理解する。 ・ 子どもの生活全体を通して養護と教育が一体的、総合的に展開していることを理解する。 ・ 保育内容の多様性とその展開について学ぶ。 ・ 保育内容の歴史の変遷から保育（者）のあり方を学ぶ。 ・ 乳幼児の育ちと育てと活動の関係について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 保育内容総論が必修科目とされた意味 保育とは 2. 保育内容はどのように組み立てられているのか 内容総論と5領域の各論 3. 保育内容の歴史から見てきたこと 4. 「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」が示す保育内容とは 5. 「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」改定すべく内容とは 6. 養護と教育が一体的に展開した保育課題とは 7. 自然と生命にかかわる育ちの活動 8. 人とかかわる主体的な育ちの活動 9. 身近な環境とかかわる主体的な育ちと活動 10. 言葉の獲得による主体的な育ちと活動 11. 感性と表現による主体的な育ちと活動 12. 子ども（乳幼児）主体の遊びと生活をつうじる保育内容と方法の検討 13. 家庭・地域・小学校（学童期）での多様な保育内容の展開と方法の検討 14. 保育実践者（指導援助者）が子ども当事者から学んだ保育内容と方法の事例検討 15. まとめと試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『保育所保育指針解説書』、『保育内容総論』青踏社、『保育とは何か』岩波新書ほか		
評 価 の 方 法	学びと保育の主体者たる問題解決型ディベートと毎回のレポート提出		

科 目	乳児保育	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「0、1、2歳」の最も重要な時期の発達を学ぶ。 ・ 乳児期の「手をかけ！目をかけ！言葉かけ！」を具体的に学び、実践に繋げていけるようにする。 ・ 手遊び、折り紙、絵本、読み聞かせ等々実技を身につける。 ・ 子育てに不安を抱えている地域社会への子育て支援について学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. 0歳児室（乳児室） 3. 乳児保育の基本 4. 乳児保育の基本 5. 乳児保育の基本 6. 赤ちゃんの12ヶ月 7. 赤ちゃんの12ヶ月 8. 赤ちゃんの排泄 9. 赤ちゃんの食事 10. 赤ちゃんの睡眠 11. 1歳児の発達 12. 1歳児の保育 13. 2歳児の発達と保育 14. おもちゃを作ってみよう 15. 地域社会の子育て支援と現状 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『やさしい乳児保育』青踏社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業態度重視、出欠席、提出物、授業内でのテストの総合評価		

科 目	社会的養護内容	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の事例を通して社会的養護を理解する。 ・社会的養護における支援内容を理解する。 ・社会的養護従事者の役割について考える。 ・家庭的養護とは何かを考える。 ・支援者の立場となる自分のことをより深く理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的養護おさらい（歴史変遷、ニーズの変化、保育士の役割） 2. 子どもの権利擁護 3. 施設職員による権利侵害 4. 事例検討①（日常支援の目的と意味） 5. 事例検討②（治療的支援の目的と意味） 6. 事例検討③（自立支援の目的と意味） 7. アセスメントとソーシャルワーク 8. 自立支援計画書の策定 9. インケア（個別的支援） 10. アフターケア 11. 家庭的養護とは 12. 児童福祉施設の展望 13. 子どもを守るために私たちができること（グループワーク） 14. 自分を知るということ（自己覚知） 15. レポート 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……適宜指示		
評 価 の 方 法	出欠席、受講態度、提出物、レポート内容を総合的に評価する。		

科 目	保育表現技術・幼児体育Ⅰ	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発育・発達に即した、幼児体育の理論を学ぶ。 ・できるようになる喜び、できるようにがんばろうとする心の指導法を学ぶ。 ・子どもの身近にある運動用具の安全な使用方法、管理の方法を身につける。 ・実践的な幼児体育のあそびのつながりを理解し方法を学ぶ。 ・年令発達に合わせて、グループワークで授業のまとめを行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児体育の意義と社会的背景 2. 子どもの運動能力、健康問題 3. 各運動能力の発達に適した時期 調整力とは 4. 指導者の役割、幼児体育プログラム作成上の留意点 5. 幼児期の体力と運動能力、基礎運動（従手運動、マット運動、じゃれつき遊び） 6. 〃 (とびばこ) 7. 〃 (てつぼう、なわとび) 8. 親子体操 9. 風船遊び 10. 幼児体育の指導援助の方法と指導計画のたて方 11. グループワーク 12. 〃 13. 〃 14. 〃 15. グループワーク発表 ※内容は授業の進み具合によって変更することもあります。 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、ミニテストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・楽典	講 師	出口 雅生
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の基本的な構成要素を理解する。 ・子どものうたに親しみ、歌うこととリズムに合わせて身体を動かすことの喜びを自ら感じとる。 ・楽譜の読み方とピアノ演奏の基礎を学ぶ。 ・簡単な合奏を通して、子どもたちと音楽を分かち合うために何が必要か考察する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 音の高さについて 3. 音の長さについて 4. 拍子について 5. 音階について 6. ピアノ① 7. 合奏① 8. 調性について① 音階 9. 調性について② 調号 10. 和音について① 三和音 11. 和音について② 和音の連結 12. ピアノ② 13. 合奏② 14. 試験 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	平常点、提出物、試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノ I	講 師	石田 延江・島内 亜津子 鍋島 久美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（へ音記号導入以上を目安とする）。 ・簡単な子どもの歌を弾き歌いできるようにする。 ・楽しい生き生きとした音楽表現を目指してピアノの練習を日々心掛ける。 ・毎回の個人レッスンについて、進度表に記入していく。 （備考）経験者については初心者と同じ曲から始めて、自分のテクニックを確認しつつ、さらにピアノⅡの内容に進んで下さい。		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：導入～両手で弾く（全音符・4分音符・2分音符・付点・休符について） 3. 〃 ：拍子記号・リピート記号 4. 〃 ：異なる左右の指の動き 5. 〃 ：スラー（滑らかなフレージングの演奏）の表現 6. 〃 ：タイの奏法 7. 〃 ：8分音符の導入 8. 〃 ：8分音符の導入 9. 〃 ：付点4分音符・8分音符の奏法 10. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 11. 〃 ：大譜表、へ音記号の読み方 12. 〃 ：「むすんでひらいて」を弾いてみよう 13. 〃 ：ハ長調の弾き歌い演習 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』ドレミ楽譜出版社 『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形 I	講 師	廣田 篤憲
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの造形活動について理解し、その基本的知識を学ぶ。 ・絵画的造形製作の意義とその目標について理解する。 ・画材と題材について学習し、その技術を習得する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における造形表現の意味、造形表現の基礎知識（色彩、画材などの基本知識） 2. 鉛筆デッサン基礎、明度のグラデーションから立体表現 3. 造形表現の発達論と立体表現 4. クレヨン画基礎 5. ひっかき絵（スクラッチ）、はじき絵 6. クレヨンでポスターを作る 7. デカルコマニー、絵の具の軌跡（偶然からできる作品で遊ぶ） 8. しわくちゃのクラフト紙に水彩絵の具で絵を描こう（紙で遊び、触感などを楽しむ） 9. 絵肌作りからコラージュへ（準備と創作） 10. 子どもの描画の特徴とその背景 11. 見立て（意味づけ）あそび（単純な形を組み合わせる想像力を身につける） 12. シャボン玉で作る水玉模様 13. 野菜でスタンプ（野菜の切り口など、形の面白いものを見つけてスタンプあそび） 14. 点・線を使って描いたものから、何かを見つけて絵に仕上げよう 15. 色水あそび（色水を作って光をあてて色の光りあそび） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育をひらく造形表現』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	作品、出席状況による総合評価（作品は全作品提出が単位取得の最低条件です）		

科 目	保育実習指導 I a	講 師	渡邊 眞理
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習経験である重要な保育実習を有意義なものとするために必要な事項を学び、理解する。 ・保育所の実際、実習ノートの記載方法、実習段階に応じた活動内容などの具体的な項目について学ぶ。 ・保育教材の製作、保育技術の習得と発表。 ・各自が目的意識、問題意識を持ち意欲的に前向きに実習にのぞむことを目的とする。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（保育所実習の意義と目的） 2. 保育所の理解① 3. 〃 ② 4. 〃 ③ 5. 保育計画について① 6. 〃 ② 7. 保育実習の段階 8. 乳児クラスでの指導実習 9. 幼児クラスでの指導実習 10. 保育日誌について 11. 保育所実習についてのオリエンテーションと留意事項 12. 保育実技演習① 13. 〃 ② 14. 〃 ③ 15. 保育所実習まとめ <p style="text-align: right;">※内容は授業の進み具合によって変更することもあります。</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド』ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点・レポート・ミニテスト・提出物・実技試験の総合評価		

科 目	保育実習指導 I b	講 師	古野 愛子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設や障害者支援施設の概要を理解し、実習に向けて各施設の養護内容、支援内容を深く学ぶ。 ・デイリープログラムや施設が行っている事業、職員の業務内容について学ぶ。 ・施設における実習日誌の実際を研究し、書き方のポイントを学ぶ。 ・一人一人が実習に向けて具体的な実習課題を設定する。 ・児童福祉施設をはじめとして、施設が果たす社会的役割について考察する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（この講義の意味） 2. 実習に向かう姿勢、心構え 3. 実習先となる児童福祉施設について① 4. 実習先となる児童福祉施設について② 5. 実習先となる児童福祉施設について③ 6. 実習における観察の視点・記録① 7. 実習における観察の視点・記録② 8. 実習における観察の視点・記録③ 9. 実習前のオリエンテーションについて 10. 実習に必要な書類の作成 11. 実習課題に関する演習① 12. 実習課題に関する演習② 13. 実習課題作成① 14. 実習課題作成② 15. 実習に向けて・テスト 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド』ミネルヴァ書房 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席・平常点・レポート・テストによる総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅡ	講 師	鈴木 真智子・前原 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノⅠに引き続き、ピアノの基礎表現技術を学んでいく。 ・現場で使える生活の歌や童謡の弾き歌いレパートリーを増やしていく。 ・日々の自己練習を積み重ねることで、個人レッスンで音楽表現の楽しさや共有する喜びを体験する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個人レッスン：大譜表、へ音記号の復習 3. 〃 ：跳躍するメロディーの指の使い方（指替え、指広げ等） 4. 〃 ：ハ長調の音階練習 5. 〃 ：3連符と16分音符 6. 〃 ：イ短調の音階 7. 〃 ：ト長調の音階と曲 8. 〃 ：ト長調の童謡 9. 〃 ：ニ長調の音階と曲 10. 〃 ：ニ長調の童謡 11. 〃 ：ヘ長調の音階と曲 12. 〃 ：ヘ長調の童謡 13. 〃 ：生活の歌 14. 〃 ：実技試験の曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『おとなのためのバイエル教本』、『こどものうた100』チャイルド本社 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・造形Ⅱ	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>様々な教材を用いた課題制作（主に工作）を行い造形表現の意義を考える。 学生は心の内面の思いを作品に表現し、造形の楽しさ・面白さを体感する。また一連の制作過程から保育士と幼児の関わりを経験する。 そして幼児の自主性・主体性と、保育士に必要な援助とは何かを考え、自らの保育における造形感や技術・資質を育てる。 ＊制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前提講義。線・丸・点。いろいろな線を描く。幼児の造形活動の特徴とは。 2. 工作での発達過程に応じた造形指導とは。ぴよんぴよんカエルとトンボを作る。 3. 一枚の紙の可能性。素材の可塑性とは。はじき絵とにじみ絵。 4. 紙素材の研究。ヘビやハロウインのカボチャを作る。 5. コウモリ・クロネコ・キノコ・ミノムシなどを作る。紙を丸める、ちぎる、折る。 6. 遊べる工作（伝統的な手作りおもちゃの制作）、動く工作作品（割りピンを使った動物制作） 7. 前回の工作での遊び、公園での風景スケッチ、素材集め（枝やドングリや落ち葉拾い） 8. 木の実や落ち葉等の自然素材を組み合わせた、絵画や工作の作品制作。 9. フロッタージュ技法でクリスマスツリーを作る。落ち葉、コインなど。 10. グループによる壁面制作：季節をテーマに表現展の相談。プラン検討と決定。 11. グループによる壁面制作：展示する作品の制作（個別作業） 12. グループによる壁面制作：展示する舞台の制作（集団作業） 13. グループによる壁面制作：飾り付けと仕上げ。完成。グループ発表。展示。 14. 作品集制作。これまでの作品を一冊のノートにまとめ製本する。 15. まとめ、ノート提出 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>授業態度を重視。必要な用具・材料の準備、授業内での作品の提出及び完成度、学習意欲、制作に対する真摯な姿勢、適切な片付け、まとめノートの提出、遅刻早退出席数による総合的評価</p>		

科 目	実習研究概論	講 師	菊池 一英
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に向けての心がまえ全般を学びます。 ・実習が何年次のいつの時期に実施されるかを学びます。 ・保育所、その他施設について概論的に学びます。 ・実習生としてのマナーと常識を身につけます。 ・実習に向けての書類とオリエンテーションの準備をしっかりと行います。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（保育職、実習とは何か？） 2. 実習計画ガイダンス（公務員模擬テスト、証明写真について） 3. 保育所について（児童福祉施設最低基準とは？） 4. 保育所実習について① 5. 保育所実習について② 6. 児童福祉施設について 7. 児童福祉施設の実習について 8. 保育現場から学ぶ（ビデオ学習） 9. 実習のための実技指導（手遊び他） 10. 実習生として求められるマナーと常識 11. 事前のオリエンテーションに向けて（電話のかけ方、入退出、自己紹介等） 12. 実習から就職へのストーリー（公務員試験対策含む、保育実習Ⅱについて） 13. 福祉職への就職とは？ 14. 定期試験及び履歴書指導 15. 保育士の決意と覚悟（ビデオ学習） 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>平常点（無断欠席は認めない）ミニテスト、レポート、定期試験で総合評価します</p>		

科 目	クラスルーム I	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス活動を通して、学校生活をよりスムーズに進めていきましょう。 ・互いの自主性を尊重しつつ、協調・協働・情報共有し、より安心と納得の学びを行えるようにしていきましょう。 		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. オリエンテーション 3. 個別面談 4. 個別面談 5. 個別面談 6. 個別面談 7. 個別面談 8. 個別面談 9. クラス活動 10. クラス活動 11. クラス活動 12. クラス活動 13. クラス活動 14. クラス活動 15. 振り返り・後期の学校生活にむけて <div style="margin-left: 150px;"> } 発表、ボランティア、サークル、学校行事等の企画や準備 </div>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評価の 方 法	出席状況、学校生活態度を総合的に評価する		